

## 企業価値創出の源泉として グループで取り組む人材力の向上

リコーグループ社員として必要な価値観の醸成や、多様な人材が活躍できる環境、安心安全な職場環境づくりに取り組んでいます。

### グローバル規模で人材資源を最大限に活かす

世界で約10万人が従事するリコーグループでは、加速するグローバル化に応じた人材マネジメントシステムが必要となっています。社員一人ひとりに活躍の機会が与えられ、やる気と能力のある人材が成長し活躍できるよう、グローバル規模での人事施策

の構築を目指しています。①リコーウェイの浸透、②グローバルトップタレントマネジメント、③地域をまたがる人事異動(グローバルモビリティ)の促進、などに重点的に取り組んでいます。

### リコーウェイの浸透

社員一人ひとりが共通した考え方や価値観をもつために、私たちの普遍的な理念である「リコーウェイ」の浸透を図っています。リコーウェイはすべての企業活動の基礎となっており、全世界の国と地域において、同じ価値観をお客様に提供していくための基盤であると考えています。この共通の価値観のもと、多様な人材が顧客起点で個性を発揮し、互いに尊重しあい活躍することで、柔軟でイノベティブな発想が生まれ、「新しいお客様価値」を創出し続けることができる企業風土を育てています。

#### ● リコーウェイ表彰制度

2015年からグループ全社員を対象に「リコーウェイ表彰制度」を実施しています。

リコーグループの共通の理念であるリコーウェイの使命、目指す姿、価値観を体現することにより、「新しい顧客価値を生み出した活動」や「革新的な改善活動」などグループ全社員に広く共有すべき活動や取り組みを表彰しています。



リコーウェイエクセレンス・アワード  
受賞者および山下良則社長(前列左)

### グローバルトップタレントマネジメント

グローバル経営をリードする人材をグループ全体から発掘し、育成し、活用する取り組みを行っています。

海外企業の買収などを通じて、急速に海外展開を進めてきた当社にとって、グループ全体を視野に入れた人材マネジメント体制の構築は、大きな経営課題のひとつでした。買収先会社も含め、どこにどんな優秀な人材がいるのかが把握できないばかりでなく、グループで一貫した育成方針が整っていないため、体系立てた育成ができず、次世代の経営を担う人材が育っていない状況にありました。人材をグループ全体の財産として活用していくことができていなかったのです。

これらの課題への対応として、グローバル経営をリードする人材をグループ全体を母集団として、発掘・育成・活用する取り組みを進めています。

- ・ プール形成による人材の可視化(発掘)
- ・ 可視化した人材の育成体系の整備(育成)
- ・ 可視化した人材の適材適所を検討するための検討機関の設置(活用)